

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
なかまのことは②……………	なかまのことは①……………	小さくかく字のことは……………	のばす音のつくことは……………	てんでん()やまる()のつくことは……………	たしかめ もんだい ① ……………	ひらがなのことは④……………	ひらがなのことは③……………	ひらがなのことは②……………	ひらがなのことは①……………
20	18	16	14	12	10	8	6	4	2

おうちの方へ

◎言葉の知識やきまりを学習するドリルです。文や文章の中で使いこなす力がつくように、さまざまな設問を掲載しています。

◎本書は、文部科学省「学習指導要領」に基づいた編集です。

◎一般的な教育用の漢字書体を使用しております。細かな字形について、ご使用の教科書と異なる場合がありますので、ご了承ください。
◎教科書によって、学習してない漢字や項目があります。

表紙イラスト／Kろこ

35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	
こたえ・とくてんひょう……………	まとのテスト ③ ……………	まとのテスト ② ……………	まとのテスト ① ……………	たしかめ もんだい ⑤ ……………	ましがえやすい かん字……………	なかまの かん字②……………	なかまの かん字①……………	かん字の できた……………	かん字の できた④……………	文のおわりの いいかた……………	「」の つかいかた②……………	まる() てん() かぎ……………	「」の つかいかた①……………	文の くみたて②……………	文の くみたて①……………	「は」「へ」を「の」つかいかた①……………	「は」「へ」を「の」つかいかた②……………	たしかめ もんだい ③ ……………	かたかなで あらわす ことば③……………	かたかなで あらわす ことば②……………	かたかなで あらわす ことば①……………	はんたいの いみの ことば……………	ようすを あらわす ことば……………	うごきを あらわす ことば……………	たしかめ もんだい ② ……………
72	70	68	66	64	62	60	58	56	54	52	50	48	46	44	42	40	38	36	34	32	30	28	26	24	22



2 えに あうように、 に ひらがなを かきましよう。

1〜4 一つアテン、5〜7 一つエテン

1 かさ



か	さ

2 こい



こ	い

3 うみ



う	み

4 あめ



あ	め

5 こうえん



こ	う	えん

6 ひまわり



ひ	ま	わり

7 しまうま



し	ま	う	ま



こうえん
かこうね。

それぞれの 字は、正しい かきじゆんで かこうね。





2

ひらがなのことば②



が	月
に	日

てん

1 えに あうように、 に ひらがなをかきましよう。

1つ6かん

1 わに



わ
に

2 ろば



ろ
ば

3



つ
り

4



く

5 むし



し

6 やま



ま

7 とびばこ



び
こ

8 にんにく



に
に

2 えにあうように、

①〜④ 一つずつ、⑤〜⑦ 一つずつ

1 ふえ



	え	

2 ほし



	し	

3 はな



	は	

4 とり



	り	

5 ようぶく



	う	
	く	

6 やきいも



	き	
	い	

7 はをみがく。



	は	

	み	
	が	
	く	

○

2 の ⑦ は、「を」を「お」とかかないようにね。





ひらがなのことば ③



が月
にち日

てん

1 上の^{うえ}ことばとあうえを、——でむすびましょう。

いっしょに

1 しか



2 いのしし



3 たけうま



4 くるま



2 えにあうほうのことばに、○をつけましょう。

いっしょに

1 いぬ
いぬ



2 とら
とち



3 たね
たぬ



4 きる
さる



5 ほね
はね



6 わし
ねし





3 おわる ことばだま。
 1 は、「は」から はじまる ことば。
 2 は、「み」で



なのほな



わたあめ



さつきも



さんも



1つ6てん

4 つぎの ことばを、^{ただ}正しく かきなおしましょう。

1

は	は	は
		2
み	み	み

3 えを ^み見て、 に ^{はい}入る ひらがなを かきましょう。
 1 2 それぞれ 10てん



4

ひらがなのことば④



が	月
に	日

てん

1 上のことばとあうえを、
 1つずつむすびましょう。

1 やかん



2 さいふ



3 へちま



4 すいか



2 えにあうほうのことばに、○をつけましょう。

1つずつ

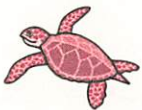
1 しりくりに



2 ほちはちに



3 かめかめに



4 りいと



5 すみれすみに



6 たぬきなぬきに





4のおわり
 1は、「た」から
 2は、「き」まで
 1は、「た」から
 はじまる
 2は、「き」まで

こたえ：72ページ

1

た	た	た

2

き	き	き

4 えを見て、
 □に入るひらがなをかきましょう。
 1 2 それぞれ15てん

2

1

へいれい

ひ	は	さ
よ	く	な
や	こ	ら

3 えと 三つの □ を 三ぼんの ー で むすんで、
 えに あう ことばに しましよう。 ー 10てん



5

たしかめ

もんだい

①

が月

にち日

てん

1 えにあうことばをかきましょう。

一つ6てん

1 たい



2 かに



3 きく



4 もも



5 あおむし



2 ^{うえ}上のことばとあうえを、
——でむすびましょう。

一つ5てん

1 ふとん



2 つくし



3 えかき



4 そらまめ



3

えと 三つみつの を 三ぼんさんぼんの 一で むすんで、
えに あう ことばに しましよう。 一つ10てん



た

ん

ら



ま

た

る



ほ

く

す

4

つぎの ことばを、正ただしく かきなおみましょう。

一つ5てん



せんる



のほら



ぬんたいこ



すきかき



こたえ...72ページ

6

てんてん()や まる()の
つくごぼ



がっ月
にち日


てん

1 上のことばとあうえを、——でむすびましよう。

一 つ 五 てん


1

ごま	こま
●	●
●	●



2

ざる	やる
●	●
●	●



3

かき	かぎ
●	●
●	●



4

だい	たい
●	●
●	●



5

ぶた	ふた
●	●
●	●



6

まど	まと
●	●
●	●



2 の中の字に てんてん()か まる()を つけて、えにあうことばにしましょう。

一 つ てん

1



け

た

2



か

は

3




えん

ひ

つ

4



な

へ

3

えにあうように、にひらがなをかきましよう。

いっしょに

1

びん



びん

2

にじ



に

3

はなぢ



はなぢ

4

てつぼう



てつぼう

5

ながぐつ



ながぐつ

6

かんづめ



かんづめ

7

たんぽぽ



たんぽぽ



2 は、てんでん(かまる)。(を)つけて
よんで みまじ。

7

のぼす音のつくことば



がっ
月
.....
にち
日

てん

1 えに あうように、
 に ひらがなを かきましよう。

一つ5てん



お
ば
さ
ん



お
ば
あ
さ
ん



お
じ
さ
ん



お
じ
い
さ
ん

2 えに あう ほうの 字を、○で かこみましよう。

一つ5てん



お
か
さん

う・あ



たい
よ

う・お



お
と
さん

う・お



び
よ
い
ん

お・う

8

小さくかく字のことば

か
月
に
ち
日

てん

1 1 小ちいさく かく 字じに 気きを つけて、
かきましよう。



に ひらがなを

一つてん

1 きつぷ


き
ぶ

2 かつぱ


か
ぱ

3 ほっぺた


ほ
ぺ
た

4 でんしゃ


で
ん
し
ゃ

5 ひやくえん


ひ
ゃ
く
え
ん

6 きゅうり


き
ゅ
う
り

7 しょっき


し
よ
っ
き



小さい字は、
マスのどこに
かくのかな？

2 上の^{うえ}ことばとあうえを、——でむすびましよう。

一つてん

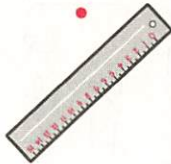
1 きんぎょ



2 ちやわん



3 きょうりゅう



4 じょうぎ



3 えに あう ほうの ことばに、○をつけましよう。

一つてん

1

がつき がつき
がっき がつき



2

せっけん せっけん
せつけん せっけん



3

おちや おちや
おちや おちや



4

いしや いしや
いしや いしや



5

あくしゆ あくしゆ
あくしゆ あくしゆ



6

ちよう ちよう
ちよう ちよう



3 は、こえに 出して よんで みよう。





なかまの「ことば」①



が月
にち日

てん

1 上の「」とおなじなかまの「ことばを、」から
えらんで かきましよう。

1 はと・つばめ
からす・すずめ

2 いちご・みかん
りんご・ぶどう

3 とんぼ・ちよう
ばった・せみ

もも・かぶとむし・ふね・ふくろう

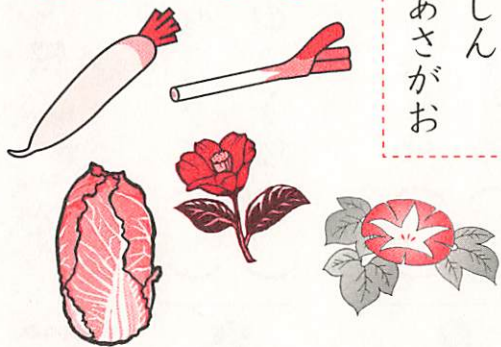
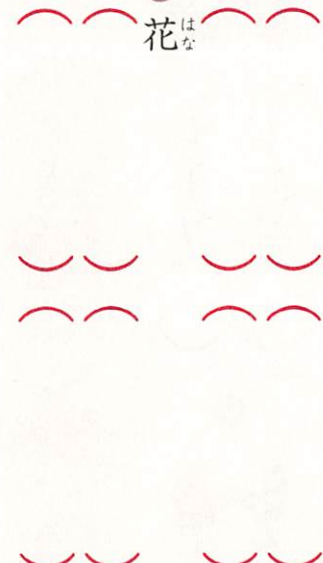
2 の「ことばを、「やさい」の なかまと「花」の
なかまに わけて かきましよう。

① ② それぞれ 15てん

つばき・だいこん・ばら・にんじん
はくさい・さくら・ながねぎ・あさがお

1 やさい

2 花 はな



3 正しく つながる ほうの ことばを、
 ○で かこみま
 しょう。

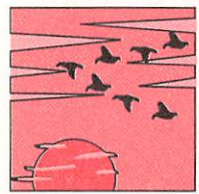
一つてん

1 あさ↓
 ひる
 よる ↓ 夕ゆうがた



2 きのう↓
 あささつて
 きよう ↓ あした

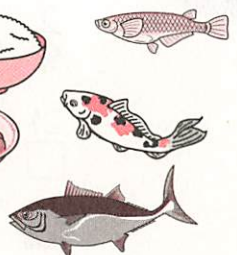
3 きよねん↓
 ことし
 いちねん ↓ らいねん



4 の ことばを ひとまとめに した いいかたに
 ○をつけましょう。

一つてん

1 こい・いわし
 まぐろ・めだか



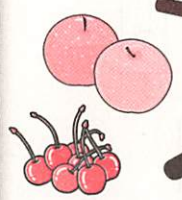
2 うどん・ごはん
 にもん・つけもの



3 のこぎり・かなづち
 おの・つめきり



4 なし・さくらんぼ
 ゆず・いちご



1 の 1 は 「じ」
 2 は 「く」
 3 は 「ち」
 の 「て」



がっ月
にち日

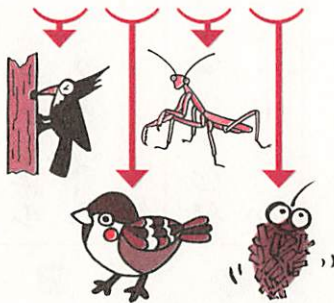
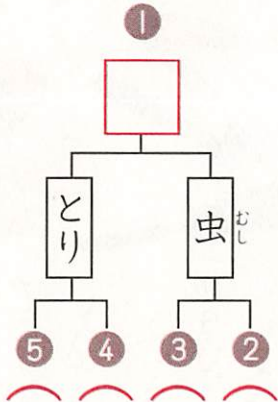
てん

1 えにあうきせつを、()にかきましょう。 一つてん



2 □にあてはまることばを () からえらんで、き

ごうをかきましょう。()には、えにあう名まえ
を、一つずつ かきましょう。 一つてん



ア たべもの
イ いきもの
ウ のりもの



2

の ①は、「虫」と「じ」をまとめる ことばだね。

5



() ()
 () ()
 に に
 ひき どう

6



() ()
 () ()
 さん さん
 三にん 三だい

3



() ()
 () ()
 よん よん
 四こ 四ほん

4



() ()
 () ()
 いっ いち
 一びき 一わ

1



() ()
 () ()
 に に
 二まい 二さつ

2



() ()
 () ()
 さん みっ
 三だい 三つ

4

かぞえかたの 正しいほうに、^{ただ}○をつけましょう。

3



() ()
 () ()
 こんにちは。 いただきます。

2



() ()
 () ()
 行ってきます。 おやすみなさい。

1



() ()
 () ()
 ただいま。 さようなら。

3

えに あう ほうの あいさつの ことばに、○をつ けましょう。



どんな ときの あいさつかな？

一 つ 五 つ

2 つぎの ような とき、なんと いいですか。あいさつ

を ひらがなで かきましよう。

一つてん

1 いえに かえって きた とき。



2 あさ、人^{ひと}に あった とき。



3 ものを もらった とき。



4 あやまる とき。



3 えの ^{なか}中の ものの かぞえかたを、()に ひらがな

で かきましよう。

一つてん



一^{いっ}

()

()



三^{さん}

()

()



二^に

()

()



四^よ

()

()



四^{よん}

()

()



十^{じっ}

()

()

1 えにあうほうのことばに、○をつけましょう。

一つ6てん



() ()
なげる はしる



() ()
たべる のむ



() ()
ひく たたく



() ()
よむ かく



() ()
はなす うたう



() ()
とぶ なく

2 上^{うえ}につづくことばを、——でむすびましょう。

一つ5てん



字^じを
えらぶ。



ふくを
かく。



うまに
もつ。



にもつを
のる。



なにを
して
いる
ところか、
か
んがえよう!

3 えに あう ことばを、
かきましよう。

から えらんで () に

一つ5てん



1 かおを ()



2 はを ()



3 大ごえで ()



4 りんごを ()

4 えに あう ことばを、 () に かきましよう。

1 木の 上で とりが

2 ねこが 木に

3 金ぎよが すいすい

4 つばめが 目の まえを



一つ6てん

みがく
あらう
たべる
わらう



1 の 2 の、「のむ」と「たべる」の ちがいが わかるかな？

こたえ：74ページ

1 上のことばに つづくほうに、○をつけましょう。

一つでん



天気てんきが

() ()
() ()
たかい。 よい。



力ちからが

() ()
() ()
つよい。 おそい。



ふゆは

() ()
() ()
あまい。 さむい。



ゆきは

() ()
() ()
せまい。 白しろい。

どんな
ようすを
あらわして
いるかな？

2 えにあうことばを、 から えらんで () () にか

きましよう。

一つでん



しんかんせんは、

() ()



おふろは、


() ()

あたたかい
あたらしい
はやい



このくつは、

() ()

3 えに あう ほうの ことばを えらんで、で
かこみましょう。

一つ8てん



1 おとうとが

ぎっしり
ぐっすり

ねむる。



2 あか赤ちゃんが

にこにこ
そろそろ

わらう。



3 かいだんを

ひらひら
ゆっくり

のぼる。

4 つぎの えが あらわす おと音を、した下から えらんで、
—で むすびましょう。

一つ8てん



1 ピューピュー



2 ポトリ



4 トントン



3 パチパチ



ほかの ことばを
くわしくする
ことばだよ!



4 は、**1** **3**「たたく」、**2**「たれる」、**4**「くわしく」を くわしく
する ことばを えらぼう。



14

はんたいのいみのことば

が月
にち日

てん

1 上の^{うえ}ことばとはんたいのいみのことばをえらんで、○をつけましょう。

1 さむい

() ()
() ()
あまい あつい

2 たかい

() ()
() ()
ひくい ひろい

3 おおい

() ()
() ()
小さい すくない

4 大きい

() ()
() ()
小さい すくない

5 つよい

() ()
() ()
よわい うすい



2 — のことばとはんたいのいみのことばを、下^{した}からえらんで、— でむすびましょう。 一つ5てん

1 しあいに

まける。

• 出^でる

2 うら口^{ぐち}から

入^{はい}る。

• うる

3 くだものを

かう。

• 上^あがる

4 気^きおんが

下^{くだ}がる。

• かつ

はんたいのうごきをあらわすことばはどれかな？





文ぶんや

文ぶんし

文ぶんし

文ぶんし

文ぶんし

文ぶんし

文ぶんし

文ぶんし

文ぶんし

文ぶんし

文ぶんし

文ぶんし

③の「せまい」は、
ははが
小さい
うすみだよ。



③

せまい
⇔
みち。

④

うすい
⇔
本ほん。

①

へやの
⇔
中なか。

②

まえに
⇔
すすむ。

④

このことばとはんたいのいみのことばをか
きましよう。
ことば

②

あたらしい
⇔
いえ。

ねむい
あかるい
小さい
ふるい

①

よるは
⇔
くらい。

③

このことばとはんたいのいみのことばを、
からえらんで、
にかきましよう。
ことば

かたかなで
ことば①
あらわす

が 月
に 日

てん

1 えに あうように、 に かたかなを かきましよう。

いっせいでん

1 ベンチ



ン
チ

2 エプロン



エ
ロ
ン

3 ドーナツ



ド
ナ
ツ

4 ネットレス



ネ
ツ
ク

2 正しい ^{ただ}ほうに ○ を つけましよう。

いっせいでん

1



キ	ヤ
ベ	ツ

正しい ^{ただ}かきかたは
どちらかな?

2



シ	ー
ソ	ー



かたかなの のばす 音は、「」で あらわすよ。



フ
ラ
ー



ロ
ン



レ
ヨ
ン



コ
ラ



シ
ヤ



ー



ワ
ン
ピ
ー

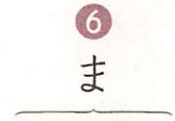


4 かたち^きに 気^きを つけて、 に かたかなを かきま
しょう。

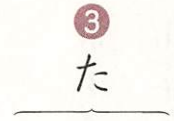
一つ5てん



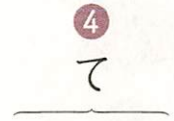
ナ メ



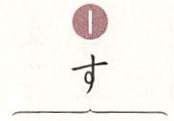
マ ア



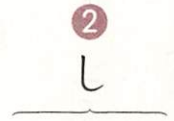
ク タ



テ チ



ヌ ス



シ ツ



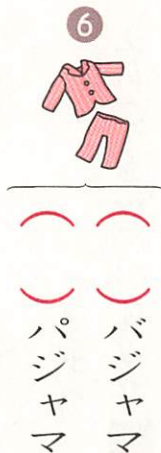
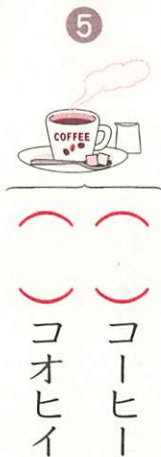
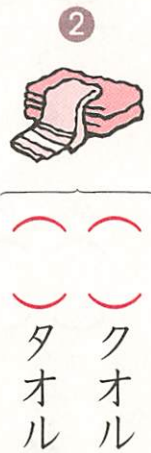
かたちが にて いるの
で、気^きを つけようね!

3 つぎの かたかなを えらんで、○を つけましょう。

一つ5てん

1 えにあうほうのかたかなに、○をつけましょう。

一つてん



2 つぎの文で、かたかなをまちがえているところに
―をひき、右に正しくかきなおしましょう。

〈れい〉ミツンでぬう。

①③ それぞれ6てん

1 ブラウヌとセーターをきる。



2 パンにジャムをぬる。

文字の
小さい
小さく
どこに
かきまちがいと、
かきまちがい、
かく字のまちがい。
あるのかな？

3 メロンとパナをたべた。




が 月
.....
に 日

てん

1 つぎの のりものの 名まえを かたかなで かきま
しょう。

いっしょでん

1 

	ヌ		

2 

		ト	

3 

	ト			
	ラ			

4 

	ヘ				
		コ			

のりものの
名まえには、
かたかなで
かくものが
あるよ。



2 つぎの どうぶつの 名まえを かたかなで かきま
しょう。

いっしょでん

1 

()

2 

()

3 

()

4 

()

3 つぎの なぎごえや ものの 音を、かたかなで かき
ましよう。

1 わんわん



2 どんどん



一ツアテン

3 ぴよぴよ



4 ごろごろ



4 文の 中から かたかなで かく ことばを 二つずつ
さがし、かたかなになおして かきましよう。

1 ばんごはんに、さらだと

かれえらいすを たべました。

①② それぞれ 10てん

2 音がくの じかに、

かすたねつとを たたき、

はあもにかを ふきました。



()

() ()

()



なぎごえや、ものの 音は、かたかなで かくことが おおいよ。



18

たしかめ

もんだい

3

が
月

に
日

てん

1 () に あう ことばを、

[] から えらんで かき

ましよう。

一つおてん



1 めが ()

()。



2 ピアノを ()

()。



3 ほうきで ()

()。

2 () に あう ことばを、

[] から えらんで かき

ましよう。

一つおてん

1 ドアを ()

() たたく。

ぺらぺら

2 赤^{あか}ちゃんが ()

() ねむる。

トントン
ぐっすり

3 () の ことばと はんたいの いみの ことばを、

() に かきましよう。

一つおてん

1 なつは あつい。

⇔

2 この 本^{ほん}は あつい。

⇔

4 つぎの文をよんで、あとのもんだいにこたえましょう。

ぼくは、かぞくで はわいに いった。
おかあさんは、ぱらそるの 下で、
じゅうすを のんだ。おとうさんと
よつとに のつたら、
とおくで さかなが
とんで、水が
ばしやばしやと はねて
いるのが 見えた。



① かたかなで かいた ほうがよい ことばを 五つ
さがして、右に —— を ひきましよう。 一つ4てん

② ①で ひいた —— の ことばを、かたかなで () に
かきなおしましょう。 一つ6てん

() () ()
() () ()
() () ()



1 正しいほうの字を、○でかこみましょう。

1こ8てん

① ぼく

わは

一年生です。



② いろがみ

をお

おります。



③ へや

へえ

入ります。



2 にあうほうの字を、○でかこみましょう。

①～④それぞれ7てん

わは

わは

おを

 ① たし

花

うえた。

おを

おを

おを

 ② にの

めん

かぶる。

えへ

えへ

えへ

 ③ こうんを

とおって、

き
むかう。

わは

おを

えへ

 ④ すれもの

 して、いえ
もどる。

3 — の字を正しくかきなおしましょう。

①～③ それぞれ 8てん

① ぼくわ、学校え、いきました。

② いもうとお、そとえ、つれ出した。



③ 本お、たなえ、かえした。

④ えにあう文になるように、□に「は」「へ」「を」のどれかをかきましよう。

①～③ それぞれ 8てん

① おじいさん、はしって、いる。

② おじいさん、おにぎり

おいかけて、いる。



③ おにぎり、しげみ、むかって

ころがって、いく。



2 の文のはじめは、「わ」「え」「お」がくることが
おおいよ。

「は」「へ」「を」の
つかいかた②

が月

に日

てん

1 まちがって つかって いる 字を、二つずつ さがして — を ひき、右に みぎ 正しく ただ かきましよう。

①③ それぞれ 8てん

1 かはいい ハムスターお かう。

2 いへへ かえって、ぼおしを ぬぐ。

3 ははわ スーパーえ かいものに
いく。



2 □ に あう 字を、□ から えらんで かきましよう。
おなじ 字を 二ど つかっても かまいません。一字 4てん

1 □ ほん □ よむ。

2 □ どうさんと 山 やま □ いく。

3 たかい □ い □ のぼる。



4 どうぶつえんに いるの □ □ だ。



が月

に日

てん

1 つぎの文ぶんの中なかで、「なにが(は)」にあたることをさがして、——をひきましょう。 一つてん

1 こうもりが はやくとぶ。

2 花はなが きれいに さく。



3 くじらは、さかなではない。

4 たいようが ひがしから のぼる。



2 つぎの文ぶんの中なかで、「だれが(は)」にあたることをさがして、()にかきましょう。 一つてん

1 わたしは、一年生いちねんせいです。

2 おとうとは、四よんさいです。

3 いもうとは、わたしより 小ちいさい。

4 ぼくは、早はやく おきる。



「が」「は」をさがしてみよう。

3 つぎの 文の 中で、「どうする(どうした)」にあ
たる ことばを さがして、――を ひきましよう。

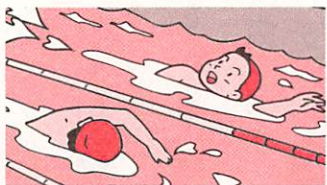
1 さくらの 花が さく。

1つ6てん

2 ぼくは、プールで およいだ。

3 かもめが、ならんで とぶ。

4 おねえさんは テニスを する。



4 つぎの 文の 中で、「なにが(は)」と 「どうする(ど
うした)」に あたる ことばを さがして、() () に
かきましよう。

①〜③ それぞれ 8てん

1 川が ゆったり ながれる。

・なにが(は)
・どうする(どうした)

2 いるかは、大きく とんだ。

・なにが(は)
・どうする(どうした)

3 木が すくすく のびた。

・なにが(は)
・どうする(どうした)

1 つぎの文の中で、「いつ」にあたることをさがして、——をひきましよう。
一つ6てん

1 きょう、ぼくはうみにいった。

2 けさ、あさがおがさいた。

3 九月にハイキングにいく。

4 さつき、手がみがとどいた。



2 つぎの文の中で、「どこで」にあたることをさがして、（ ）にかきましよう。
一つ7てん

1 わたしは、いえでべんきょうした。



2 学校で、マラソン大会がある。



3 花だんで、花がたくさんさいた。



4 山でキャンプをする。



3 つぎの 文の 中で、「どんな」を あらわす こと
 ばを さがして、——を ひきましよう。 一つでん

1 白い うさぎが はしる。

2 ながい 手がみを かいた。

3 まるい ボールを なげる。

4 たかい ビルが たつ。

4 つぎの 文の 中で、「どのように」を あらわす

ことばを さがして、()に かきましよう。 一つでん

1 にわとりが コケコッコと なく。

2 かぜが ゴーゴー ふく。

3 花びらが ひらひら ちる。

4 手を ごしごし あらう。

下に くる ことばを
 くわしく する
 ことばだよー!



「なにが(は)」「または」「どうする(を)」「どうした(を)」「をくわしくして」
 している ことばを ながそつ。

1 まる(。)(と てん(、)の つかいかたが 正しい

ほうに ○を つけましょう。

一つアてん

1 わたしが えを かいた。

1 わたしが えを かいた、

2 おとうとは、いつも ごはんを のこす、

2 おとうとは、いつも ごはんを のこす。

3 きのう、いもうとが ようちえんを

3 きのう、いもうとが ようちえんを

休んだ。

4 雨が、だんだん はげしく なった。

4 雨が、だんだん はげしく なった、

2 つぎの 文に、まる(。)(と てん(、)を 一つずつ

かきましよう。

①～⑤ それぞれ 8てん

1 ぼくは こうえんへ いった

2 わたしは 犬と さんぽを する

3 すずめが やねに とまる

4 あには さかなつりに いった

5 大きな 木が こんもり しげる

「こ」は 文の
とちゅうの
きれめに、
「こ」は 文の
おわりに
かくよ。



3 かぎ（「）の つかいかたが 正しいほうに ○
 を つけましょう。
 一つ8てん

1
 () わたしは、
 () 「こんにちは。
 と いった。」
 () わたしは、
 () 「こんにちは。」
 と いった。

2
 () 「早く 出か^てけようよ。
 と」いもうとが いった。
 () 「早く 出か^てけようよ。」
 と いもうとが いった。

3
 () わたしは、
 () いただきます。
 () 「と いった。」
 () わたしは、
 () 「いただきます。」
 と いった。

4
 () みんなに、
 () 「さようなら。」
 と いった。手を ふった。
 () みんなに、
 () 「さようなら。」
 と いった。手を ふった。
 () 手^てを ふった。



3

のかぎ（「）は、人が はなした ことばに つけるよ。

1 てん(、)の つかいかたが 正しい ほうに ○を

つけましょう。

一つ8てん

1 () ()
きのう、手がみを かいた。

1 () ()
きのう 手がみを、かいた。

2 () ()
あきに、なると すずしく なる。

2 () ()
あきに なると、すずしく なる。

3 () ()
きのうは、とても さむかったので、ストーブ
を つけた。

3 () ()
きのうは とても、さむかったので ストーブ
を、つけた。

4 () ()
あした、あには、かん字の べんきようを
するらしい。

4 () ()
あした、あには かん字の、べんきようを
するらしい。

2 つぎの 文に てん(、)を 一つずつ かきましよう。

1 きよう かいものに いった。 一つ8てん

2 ふゆに なると こたつを 出す。

3 さびしいので ともだちに

でんわしよう。





2 おとうとが、
おもちゃが ほしい。
と 言って なくので、 ははは
こまっ て いた。



1 おじいさんは、
もう すぐ はるだね。
と いった。



3 つぎの 文に ぶん かぎ「こ」を ひと 一くみ つけて、 □
にかきましよう。
① それぞれ 20てん

1 すぎた ことを あらわす いいかたの 文の ほう
に、○を つけましょう。

一つ8てん

① みせて アイスクリームを かおう。
みせて アイスクリームを かった。

② ははが シチューを つくった。
ははが シチューを つくる。

③ 大つぶの 雨が ふる。
大つぶの 雨が ふった。

文の
見えて
さいごを
みよう!



2 の ことばを、すぎた ことを あらわす いい
かたに かきかえましょう。

一つ5てん

① こうえんで あそぶ。

② ジュースを のむ。

③ 早く ねる。

④ ともだちを よぶ。

3 ていねいな いいかたの 文ぶんの ほうに、○を つけ
ましよう。 一つ8てん



1 おりがみを おる。
おりがみを おります。

2 あれは、ぼくの かよう 学校がっこうです。
あれは、ぼくの かよう 学校がっこうだ。

3 おばあさんと トランプを する。
おばあさんと トランプを します。

4 の ことばを ていねいな いいかたに かきか
えましよう。 一つ8てん


1 ピアノを ひく。

2 さらを あらう。

3 ボールを なげる。

4 これは 本ほんだ。

や 3 4 の ていねいな いいかたは、文ぶんの せいが 「す」
「ます」になるよ。





26

たしかめ

もんだい

4

が月

に日

てん

1 つぎの 文^{ぶん}を よんで、あとの もんだいに こたえ
 ましょう。

あした、ぼくは、ゆうえんちで あそぶ。
 をかあさんに おこづかいお もらい、そ
 こえ もって いく おかしを、おみせえ
 かいに いきました。
 よる、かえって きた おとうさん
 に、おかしを 見^みせて あげました。



1 かなづかいの まちがいが 四^{よっ}つ あります。――を
 ひいて、右^{みぎ}に 正^{ただ}しく かきなおしましょう。 一つてん
 2 の 文^{ぶん}は、「だれが(は)」「いつ」「どうする」と
 いて いますか。()に かきましよう。

1つてん

「だれが(は)」
 「いつ」
 「どうする」



2 つぎの 文^{ぶん}を よんで、あとの もんだいに こたえ
ましよう。

アキのう、わたしは、えんそくで 山^{やま}に
いきました。ともだちと いっしょにお
べんとうを イたべた。おかずを こうか
んして、

おいしいね。

と、ウいいあった。



1 — アの 文^{ぶん}は、「だれが(は)」「いつ」「どうする
(どうした)」と かって いますか。() () に かきま
しよう。 一つ8てん

「だれが(は)」

()

()

「いつ」

()

()

「どうする(どうした)」

()

()

2 — イ・ウの ことばを ていねいな いいかたに
かきかえましよう。 一つ8てん

イ ()

ウ ()

()

3 かぎ (「」) を 入れわすれた 文^{ぶん}が あります。
かぎ (「」) を 一くみ かきましよう。 10てん


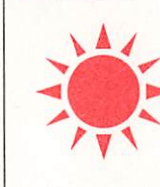
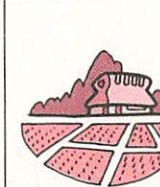

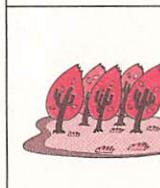
かん字の
できた

が月
にち日

てん

1 えにあうかん字を、——でつなぎましょう。

1つ5てん

	1
	2
	3
	4
	5

ひ
田

やま
山

はやし
林

た
田

かわ
川

2 かん字ができた
と下を——でつなぎましょう。

①〜③それぞれ5てん
うえ上となか中



たけ
竹



め
目

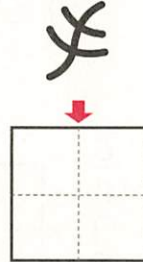
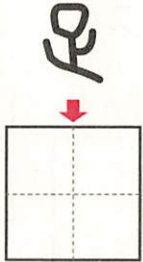


つき
月



2 おぼえやすい。その「な」の字の「な」を「しるべ」かんじも

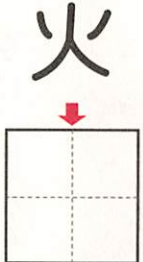
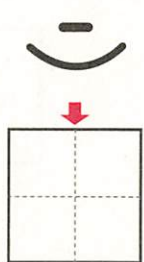
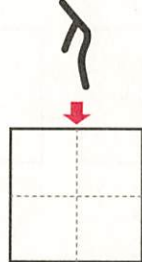
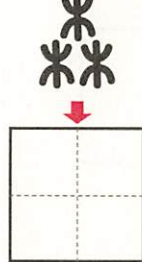
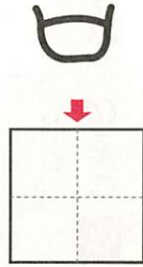
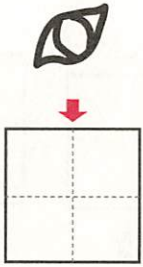
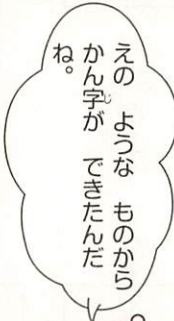
こたえ...78ページ



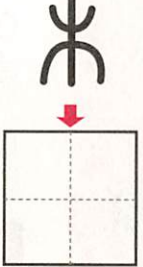
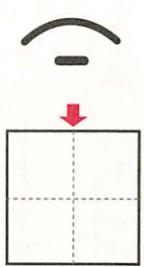
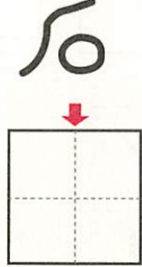
4 字を に あう からだの ぶぶんを あらわす かん

字を に あう からだの ぶぶんを あらわす かん

字を かきましよう。



3 字を に あう かん字を かきましよう。



3 字を に あう かん字を かきましよう。

□の字のかたちをもっているかん字をかきましょう。

□の字のかたちをもっているかん字をかきましょう。

かん字一字4てん

① 人
火
天
を
つける。
に
ねがう。

② 口
な
を
ひろう。
みぎ
手
を
あげる。

まえをかく。
大きな
あし

② つぎのかん字をかきましょう。

かん字一字4てん

① まち
へ
いく。

② はやし
を
出る。

② むら
に
すむ。


② おとこ
の子

② もり
の
どうぶつ。

② がっ
学
に
いく。



①は「木」という字が入っているよ。
②は「田」。

3 かたちには、**気**をつけて、に **かん字**をかきましよう。
かん字一字4てん

1

--	--

いぬ だいい

が じな
なく。 はなし。

2

--	--

はな かい

花を を
る。 ひろう。

3

--	--

ほん もく

を ようび
かりる。

4

--	--

しょう じ

小 を
生になる。 かく。

4 **かん字**の まちがいに — を ひいて、**右**に **正**しく かきなおしましょう。
①② それぞれ10てん

1 **本**の **土**に **百**い **と**りが **と**まる。

2 **一**目**じ**ゆう、**木**いろの **ビー**王を **こ**ろがして **あ**そぶ。



かたちの **に**た **かん字**の、それぞれの **い**みを **お**ぼえよう。

なかまの かん字 ①





が月
にち日

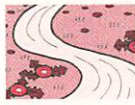
てん


1 しぜんと つながりの ある かん字を かきましよう。


一 つ 4 てん


1  やま


2  もり

3  かわ

4  はやし

5  た


6  日ひ


7  いし

2 人^{ひと}を あらわす かん字を かきましよう。 一 つ 4 てん


1  おとこ

2  おんな

3  せんせい

4  ども

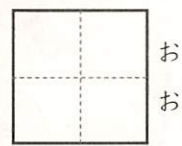
①と ②は はんたいの いみの かん字だね。



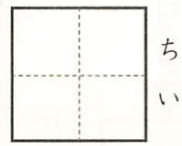


なかまの かん字は いっしょに おぼえてね。

こたえ...79ページ



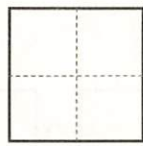
きい



せい



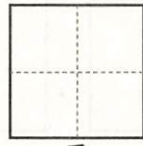
中に



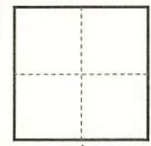
る。



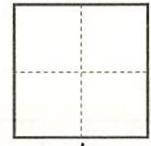
そとに



る。



をむく。



をむく。

うえ

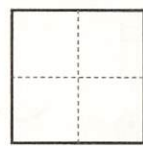
した

いの いみの かん字をかきましよう。

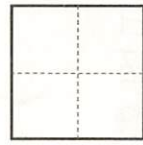
一つでん

4

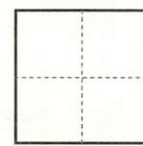
1と 2、 3と 4、 5と 6に それぞれ はんた



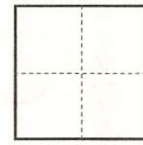
あし



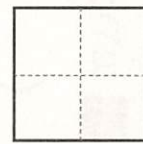
みみ



め



くち



て

3 からだの ぶぶんを あらわす かん字をかきま しよう。

一つ4てん



① 日^ひづけの よみかたを かきましよう。

一 つ 4 てん

() () () () () () () ()

① 三日

② 五日

③ 六日

④ 八日

⑤ 九日

⑥ 十日

() () () () () () () ()

② よう日^びを あらわす かん字^じを かきましよう。

一 つ 4 てん

① にち
よう日^び

③ か
よう日^び

⑤ もく
よう日^び

⑦ ど
よう日^び

② げつ
よう日^び

④ すい
よう日^び

⑥ きん
よう日^び

七^{なな}日^かか
一^{いつ}しゅつかんは
あるよ。



3 えに あう かぞえかたを えらんで、——で むす
びましよう。



● 六ろくにん ●

● 三さん本ほん ●

● 四よんこ ●

● 二にひき ●



3



4

4 つぎの えを 見みて、 かずと かぞえかたを かきま
しよう。 かずは かん字じで、 かぞえかたは ひらがな
で かきましよう。

一いちつつ六ろくてん



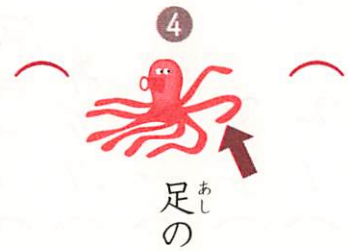
1



2



3



4

足あしの かず



●●●●●
もの かぞえかたは ほかにも いろいろ あるよ。 さがし
て みよう。



31

まちがえやすい かん字



がっ月
にち日

てん

1 文ぶんにあうほうのかん字じを、○でかこみましよう。

①〜④ それぞれ5てん

① わたしは、
犬大が犬大すきだ。

② 学字
校こうでかん字学
のべんきようをする。

③ 本木
よう日は、
本木をよんだ。

④ 目日
よう日、
日目ぐすりをさした。

2 かきじゆんの正しいただほうに、○をつけましよう。

1つ5てん

① 九
ノ乙
乙九
上
ト上

③ 女
一女女
く女女

④ 生
ノル牛牛生
ノルニ三生

正しいただかきじゆんがわかるかな?





1と 3は、かたちが にて いる かん字だよ。まちがえや すいから 気を つけてね。

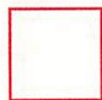
3 小



1 右



4 火



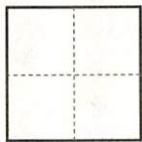
2 左



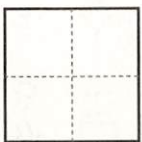
かいて たしかめよう！

4 いろいろ ついた ところは、なんばん目に かきます か。□に かずを かん字で かきましよう。一つてん

5 すなはまで きれいな



を

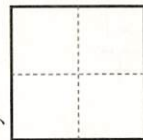


た。

4

さまが

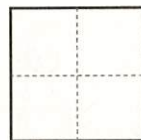
目め



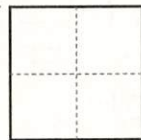
やきを

たべる。

3 まい日、



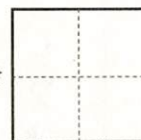
に



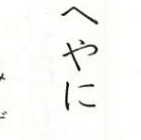
を

やる。

2 おおくの



が

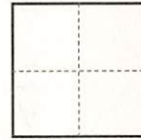


つて

きた。

1

い どうふを



円で

かう。

3 □に あう かん字を かきましよう。かん字一字4てん



32

たしかめ

もんだい

5

が月

にち日

てん

1 つぎの 文^{ぶん}を よんで、あとの もんだいに こたえ
 ましょう。

ぼくは、日^{にち}よう日^びに おとうとと、こう
 えんへ あそびに いった。

こうえんには、三^{さん}
 犬^{いぬ}が いて、草^{くさ}の 上^{うえ}に
 すわって いた。



の



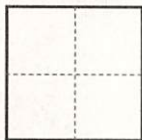
1 に 入^{はい}る かぞえかたとして 正^{ただ}しい ものを、
 つぎから えらんで、きごうを かきましよう。 10てん

ア こ イ にん ウ びき () ()

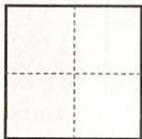
2 「よう日^び」を あらわす ことばを ○ で かこみ
 ましよう。 10てん

2 に あう かん字^じを かきましよう。 一つ6てん

2 き



3 うえ



3 つぎの ぶん文を よんで、あとの もんだいに こたえ
ましょう。

お白ひさまが アやまの かげに おちるの
を 見ると、とりは、本の 土うに とまった。
村はの イなかは とても しずかで、
ときどき 虫むの こえが きこえた。



1 かん字じの まちがいがが 五いつ あります。――を ひ
いて、右みぎに 正ただしく かきなおしましょう。 一つ6てん

2 ――ア・イを かん字じで かきましょう。 一つ6てん

ア () イ ()

4 いろが ついた ところは、なんばん目めに かきます
か。□に かずを かん字じで かきましょう。 一つ5てん

1 水

2 円

3 左

4 子



33

まとめのテスト ①

もくひょうじかん

15 ぶん

が 月 じち 日

てん

1 えに あうように、 に ひらがなを かきましよう。

一つおてん

1 かんづめ



か

2 おおかみ



お

3 きゅうこん



き

2 えに あうように、 に かたかなを かきましよう。

一つおてん

1 キヤベツ



キ

2 ジュース



ヌ

3 ソーセージ



ソ

3 つぎの なかまの ことばを、
えらんで かきましよう。
から 二つずつ

① ② それぞれ9てん

1 くだもの () ()

2 どうぶつ () ()

りんご・きりん・かば・ぶどう

4 「なにが(は)」「だれが(は)」にあたる ことばに

—を ひき、「どうする(どうした)」にあたる

ことばを ○で かこみましょう。
①③ それぞれ8てん

1 きょう、ぼくは 学校を 休んだ。

2 ゆきが、どっさり ふった。

3 いつも、わたしは 早おきする。



5 「どんな」と「どのように」にあたる ことばを さ

がして、 () ()にかきましよう。
一つ5てん

きいろい ちようが ひらひら とぶ。

1 「どんな」 () ()

2 「どのように」 () ()



1 と 2 の うすい 字は なぞってね。 字の かたちや
とめ、はねも ていねうにかこう。



34

まよめのテスト ②

もくひょうじかん

15 ぶん

がっ 月にち日

てん

1 つぎの 文ぶんから、まちがいの 字じを 二ふたつずつ さがして — を ひき、右みぎに 正ただしい 字じを かきましよう。

①〜④ それぞれ 5 てん

① いもおとは、ぼうしお かぶりしました。

② おみせえ いった、くだものお かいました。

③ ちやわんを ていねえに ありました。

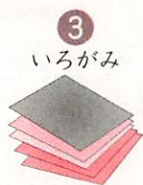
④ ぼくわ、「こんにちわ。」と いいました。

2 つぎの □ には かずを かん字じで、() には かずの かぞえかたを ひらがなで かきましよう。

①〜④ それぞれ 5 てん











3 — と はんたいの いみの ことばを かきま
しょう。
一つ6てん

1 あついで おしるこを のむ。

2 あついで 本^{ほん}を よむ。

3 ねだんの たかい ふく。

4 いちばん せが たかい。

4 つぎの さく文^{ぶん}の □ に、まる(○)か てん(●)か
かぎ(一)の どれかを つけましょう。一つ2てん

きのう □ ちかくの 山^{やま}に くりひろいに

いきました □

一^{いち}じかんくらい □ ぶちゆうで ひろって

いたら □ かごが いっぱいになりました □

おかあさんが □

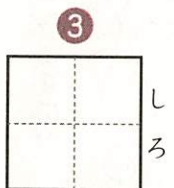
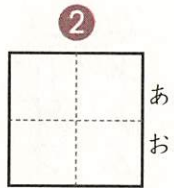
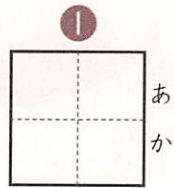
□ ずいぶん たくさん ひろったわね。 □

と いって □ おどろいて いました □



5 なかまの かん字^じを かきましよう。

一つ4てん



こたえ...80ページ



35

まとめのテスト

③

●●●●●●●●●●
もくじょうじかん

15 ぶん

がっ にお
月 日

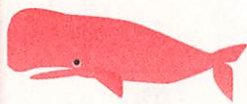
てん

1 つぎの 文^{ぶん}ししょうを よんで、71ページの もんだいに こたえましょう。

くじらを しって いますか。

せかいじゅうの うみに いる 大きな 生きものです。うみの 中で、おれを つくったり、一^{いっ}とうで いたり しながら、くらして います。えさは、こごかななどを たべます。いるかは くじらの 中でも 小さい ことを いうので、くじらの なかまです。

くじらには いろいろな しゆるいが ありますが、マッコウクジラと いう くじらは、その いっしょうの ほとんどを、とても ふかい うみの 中で すごします。ふかい うみに すむ いかを、えさに して いるからです。その いかは ダイオウイカと いい、その 名^なまえのとおり、とても 大きな いかです。



もんだい

① いっしょうようを かんじで かきましよう。 20てん

② くじらは うみの なかで どのよう_に くらして いますか。 20てん

③ くじらの えさは おもに なんですか。 20てん

④ いるかの からだは、くじらの なかで、おおきい ほう ですか、ちいさい ほうですか。 20てん

⑤ マッコウクジラが えさに して いる いかの な名まえを かきましよう。 20てん



くじらが うみの なかで どのような くらしを して いるかを よめよう。

こたえ

アドバイス は おうちの かたへ むけた ものです。
 手本の ある ページは こたえを はぶいて います。

※なぞり書き および 書きうつす もんだい
 の こたえは、はぶいて います。

1 ひらがなのことば①

2〜3ページ

- 1・2 はぶいて います

アドバイス

いろいろなもの名前を書けるようにさせる問題です。とめ、はね、書き順なども一緒に確認させてください。

2 ひらがなのことば②

4〜5ページ

- 1・2 はぶいて います

アドバイス

「わ」「ろ」「つ」「む」「や」など、曲がる線を書くのが難しいひらがなの問題です。文字の形を確認しながら、ていねいに書くようにさせましょう。

3 ひらがなのことば③

6〜7ページ

- 1 しか

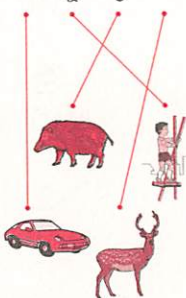
2 いのしし

3 たけうま

4 くるま

- 2 ① いぬ ② とら

5 ほね ⑥ わし



- 4 ① さんま ② さつまいも

3 わたあめ ④ なのはな

4 ひらがなのことば④

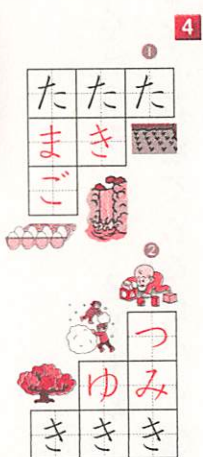
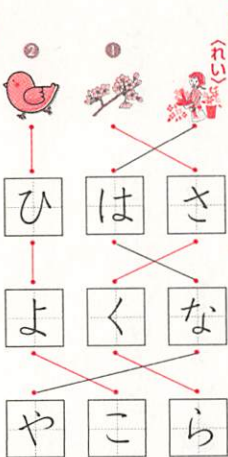
8〜9ページ

アドバイス

2と4は、形の似ているひらがなの問題です。「ぬ」と「め」、「は」と「ほ」、「わ」と「ね」などの間違いが多いので気をつけさせましょう。



- 1 ① やかん ② さいふ ③ へちま ④ すいか
- 2 ① くり ② はち ③ かめ ④ いと
- 5 すみれ ⑥ たぬき



アドバイス

3と4は言葉遊びの問題です。語彙を増やすために、ある字を使った言葉を、辞書や新聞などから探させることも効果的です。

5 たしかめ もんだい ①

10〜11ページ

- 1 はぶいて います

7 のばす音のつくことば

14〜15ページ

- はぶいて います
- あ
- う
- う
- とけい
- こおり
- せんせい
- おおかみ
- ひこうき
- いもうと
- すいえい
- えいが

アドバイス

ひらがなののばす音の表記の仕方を正しく覚えさせてください。特に、「い」と「え」、「う」と「お」の表記には注意が必要です。声に出して一語ずつ確認させ、時間をおいて復習させるとよいでしょう。

8 小さくかく字のことば

16〜17ページ

- はぶいて います
- きんぎょ
- ちやわん
- きょうりゅう
- じょうぎ
- がつき
- せつけん
- おちや
- いしや
- あくしゅ
- ちよう

アドバイス

「や」「ゆ」「よ」「つ」などの小さく書く字は、マス目の右上に書くということを確認させてください。

9 なかまのこぼ

18〜19ページ

- ふくろう
- もも
- かぶとむし
- だいこん
- にんじん
- はくさい
- なげぎ
- じゅんばん
- ちがって
- もよこ

つばき・ばら・さくら・あさが
お(じゅんばん)は ちがってもよ
い)

- ふとん
- つくし
- えかき
- そらまめ

- た
- ま
- ほ

た ん
ま た
ほ く
す る ら

- せんろ
- のほら

- めんたいこ
- すきやき

アドバイス

間違えたものは、書き取りなどをさせて、しっかりと覚えさせるようにしてください。

6 てんでん(こ)や

つくだいば

まる(の)の

12〜13ページ

- こま
- ごま
- かぎ
- かぎ
- ふた
- ぶた
- ざる
- ざる
- たい
- だい
- まど
- まど

- げ(た)
- か(は)

- (えん)び(つ)
- (な)べ

- はぶいて います

アドバイス

濁点(・)と半濁点(゜)のつくひらがなを書くとときには、濁点・半濁点の位置に注意させるようにしてください。

1 は、濁点の有無でまったく異なる言葉になることを確認させるようにしてください。

- 3 ① ひる ② きょう ③ ことし
4 ① さかな ② たべもの ③ どうぐ
④ くだもの

アドバイス

一つ一つの言葉と、それらをひとまとめにした言葉の関係がわかるようにさせてください。

10 なかまの ことば ②

20〜21ページ

- 1 ① はる ② なつ ③ あき ④ ふゆ
2 ① イ ② みのむし ③ かまきり
④ すずめ ⑤ きつつき
3 ① さようなら。 ② いったきます。
③ いただきます。
4 ① 二さつ ② 三だい ③ 四ほん
④ 一わ ⑤ 二ひき ⑥ 三にん

アドバイス

3 は、どのような場面でのような挨拶の言葉を使うのか、確かめさせてください。
4 は、数える対象によって、使う言葉が違うことを確認させましょう。

11 たしかめ もんだい ②

22〜23ページ

- 1 はぶいて います
2 ① ただいま。 ② おはよう(ごきげいします)。
③ ありがとう(ごきげいします)。
④ ごめんなさい。()
3 ① どう ② びき ③ だい ④ にん
⑤ そく ⑥ ぼん

アドバイス

2 は、状況にあてはまる内容であれば、正解とします。④ は「すみませんでした。」などもあります。

3 の① は、大型の動物には「どう」を、小型の動物には「ひき」を使うと覚えさせましょう。② は、「ひき」ではなく「びき」、⑥ は、「ほん」ではなく「ぼん」となります。

- 12 うごきを あらわす ことば ②
24〜25ページ
1 ① はしる ② のむ ③ たたく
④ よむ ⑤ はなす ⑥ とぶ

2



① 字を えらぶ。
② ふくを かく。



③ うまに もつ。



④ にもつを のる。

- 3 ① あらう ② みがく ③ わらう
④ たべる
4 ① なく ② のぼる ③ およぐ
④ とぶ

アドバイス

動きを表す言葉(動詞)の問題です。身近な動作をあげて、言葉を学べるようにしています。

4 は、絵に合う言葉がこのほかにも数多くあります。① うたう・さえずる、② いる、③ およいでいる、④ とんでいる・よこぎる、など。あてはまる言葉であれば、正解です。

13 ようすを あらわす ことば ②

26〜27ページ

- 1 ① よい ② つよい ③ さむい
④ 白い
2 ① はやい ② あたたかい
③ あたらしい
3 ① ぐっすり ② にこにこ
③ ゆっくり



① ピューピュー
② ポトリ
③ パチパチ
④ トントン

アドバイス

3と4は、擬声語の問題です。鳴き声（「ニャーニャー」など）を表す擬音語と、様子を表す（「ゆっくり」など）擬態語があります。いずれも、動詞をくわしくしている副詞です。

14 ほんたいのじみのことば

28〜29ページ

- 1 あつい 2 ひくい 3 すくない
- 4 小さい 5 よわい

- 2 ① しいに まける。 ② うら口から 入る。 ③ くだものを かう。 ④ 気おんが 下がる。
-

アドバイス

反対の意味の言葉を考えさせることで、言葉の持つ意味を確認させることができます。

- 3 ① あかるい ② ふるい ④ あつい
- ① そと ② うしろ ③ ひろい

15 かたかなであらわすことば

30〜31ページ

- 1 はぶいて います

- 2 ① キヤベツ ② シーツー

- 3 ① ス ② シ ③ タ ④ テ ⑤ メ ⑥ マ

- 4 ① ワ ② ス ③ ク ④ ア ⑤ マ ⑥ メ

アドバイス

1の③は、かたかなの長音に注意が必要でです。かたかなの長音は、「ー」で表します。

3と4は、形の似たかたかなに注意。小学生のドリルシリーズ「3 ひらがなとかたかな小学一年」でのトレーニングも効果的です。

16 かたかなであらわすことば

32〜33ページ

- 1 スプーン ② タオル ③ マッチ

- 4 ケーキ ⑤ コーヒー

- 6 パジャマ

2

① ブラウスと セーターを きる。

② パンに ジヤムを める。

③ メロンと パナナを たべた。

- 3 はぶいて います

- 4 ① ロ ② ベ

アドバイス

かたかなの濁点・半濁点は、ひらがなと同じように、書く位置に注意させましょう。拗音「ヤ」「ユ」「ヨ」や促音「ッ」は、たて書きの際はマスの右上に小さく書くことに気をつけさせましょう。

17 かたかなであらわすことば

34〜35ページ

- 1 ① バス ② ボート ③ トラック

- 4 ヘリコプター

- 2 ① ペンギン ② ゴリラ ③ パンダ

- 4 ライオン

- 3 ① ワンワン ② ドンドン

- 3 ピヨピヨ ④ ゴロゴロ

- 4 ① サラダ・カレーライス（じゅんばんは ちがっても よい）

- ② カスタネット・ハーモニカ（じゅんばんは ちがっても よい）

アドバイス

どのような言葉をかたかなにしたらいかを確認させてください。

4は、「かれえらいす」や「はあもにか」の長音部分を「ー」で表すことに注意させてください。

18 たしかめ もんだい

36〜37ページ

- 1 ① 出る ② ひく ③ はく

- 2 ① トントントン ② ぐつすり

- 3 ① さむい ② うすい

4 ①

ぼくは、かぞくで はわいに いった。
 おかあさんは、ばらするの 下で、
 じゆうすを のんだ。おとうさんと
 よつとに のつたら、
 とおくて さかなが
 とんで、水が
 ばしゃばしゃと はねて
 いるのが 見えた。



- ② ハワイ・パラソル・ジュース・
 ヨット・バシヤバシヤ (じゅんば
 んは ちがっても よい)

アドバイス

①の②は、漢字で「弾く」と書きます。ギ
 ターなどを演奏するのも「弾く」と書きます。
 ③の①は、「暑い」の反対ですから、「寒い」
 になります。②の「厚い」の場合には「薄い」
 になります。同じ読み方でも言葉の意味は異
 なるところをよく考えさせてください。

19 「は」「へ」をのつかいかた① 38〜39ページ

- ① ①は ②を ③へ
 ② ①わ・は・を ②お・お・を
 ③え・え・へ ④わ・を・へ
 ③ ①は・へ ②を・へ ③を・へ
 ④ ①は ②は・を ③は・へ

アドバイス

「は」「へ」「を」は助詞で、言葉の後につき
 ます。「は」は主に主語を示し、「を」「へ」は
 動作の対象・方向を示す働きをします。

20 「は」「へ」をのつかいかた② 40〜41ページ

- ① かはいい ハムスター を かう。
 ② いへへ え かえって、ぼおしを ぬぐ。
 ③ ははわ は スーパー え かいものに
いく。

2 ①え・を ②お・へ ③へ・を

④は・わ

3 ①は ②え ③え ④へ ⑤を

④ ①わたしは、デパートへ いきま
 した。

② うまは、草を たべます。

③ 学校の かえりに おとうとを
見ました。

アドバイス

②「は」「へ」は言葉の最初にくることがあ
 りますが、「を」は常に言葉の後にきます。

21 文のくみたて① 42〜43ページ

- ① ① こうもりが はやく とぶ。
 ② 花が きれいに さく。
 ③ くじらは、さかなでは ない。
 ④ たいようが ひがしから のぼる。
 ② ①わたしは ②おとうとは
 ③いもうとは ④ぼくは
 ③ ①さくらの 花が さく。
 ② ぼくは、プールで およいだ。
 ③ かめが、ならんで とぶ。
 ④ おねえさんは テニスを する。

④ ①・なが(は)…川が

・どうする(どうした)…ながれる

②・なが(は)…いるかは

・どうする(どうした)…とんだ

③・なが(は)…木が

・どうする(どうした)…のびた

アドバイス

文の基本となる、主語と述語を確認させる
 問題です。

22

文のくみたて②

44〜45ページ

1 きょう、ぼくは うみに いった。

2 けさ、あさがおが さいた。

3 九月に ハイキングに いく。

4 さつき、手がみが とどいた。

2 ① いえて ② 学校で ③ 花だんで

4 山で

3 ① 白い うさがが はしる。

2 ながい 手がみを かいた。

3 まるい ボールを 上げる。

4 たかい ビルが たつ。

4 ① コケコツコーと ② ゴーゴー

3 ひらひら ④ ごしごし

アドバイス

修飾語にあたる言葉の問題です。前の④で学んだ、「なにが(は)」「だれが(は)」「(主語)と」「どうする(どうした)」(述語)も確認させるようにするとよいでしょう。

23

かき(ま)の つかい(てん)かた①

46〜47ページ

1 ① わたしが えを かいた。

2 おとうとは、いつも ごはんを のこす。

3 きのうち、いもうとが ようちえんを 休んだ。

4 雨が、だんだん はげしく なった。

2 ① ぼくは、こうえんへ いった。

2 わたしは、犬と さんぽを する。

3 すずめが、やねに とまる。

4 あには、さかなつりに いった。

5 大きな 木が、こんもり しげる。

3 ① わたしは、

「こんには。」

と いった。

2 「早く、出かけようよ。」

と いもうとが いった。

3 わたしは、

「いただきます。」

と いった。

4 みんなに、

「さようなら。」

と いった、手を ふった。

アドバイス

読点(、)は文の途中の意味の切れ目に、句点(。)は文の終わりにつけるということを確認させてください。かき(ま)は、人物の会話部分や引用部分につけます。

24

かき(ま)の つかい(てん)かた②

48〜49ページ

1 ① きのうち、手がみを かいた。

2 あきになると、すずしくなる。

3 きのうち、とても さむかったので、ストーブをつけた。

4 あした、あには、かん字のベんきょうを するらしい。

2 ① きょう、かいものに いった。

2 ふゆになると、こたつを 出す。

3 さびしいので、ともだちに でんわしよう。

3

①

と	「	お	
い	も	じ	
っ	う	い	
た	す	さん	
	ぐ	は	
	は	る	
	だ	ね	
	。	」	

2

は	と	「	お	
は	い	お	も	
は	こ	っ	ち	
	ま	て	や	
	っ	な	が	
	て	く	が	
	い	の	ほ	
	た	で	し	
	。		い	
			」	

アドバイス

3 は、まる(○)てん(・)かぎ(フ)を書く位置にも注意させてください。

25 文のおわりのいいかた

50〜51ページ

- 1 みせて アイスクリームを かった。
- 2 ははが シチューを つくった。
- 3 大つぶの 雨が ふった。
- 1 あそんだ 2 のんだ 3 ねた
- 4 よんだ

3 1 おりがみを おります。

2 あれは、ぼくの かよう 学校です。

3 おばあさんと トランプを します。

4 1 ひきます 2 あらいます

3 なげます 4 本です

アドバイス

1 と 2 は、すでに終わった、過去形の言い方です。

3 と 4 は、「です」「ます」で結ぶ丁寧な言い方(敬体)です。「だ」「である」で結ぶ言い方はふつうの言い方(常体)です。

26 たしかめ もんだい

4 52〜53ページ

1 1 をかあさんに おこづかいお もらい、そこえ もって いく おかしを、おみせえ かいに いきました。

2 「だれが(は)…」: ぼくは

「いつ」: あした

「どうする」: あそぶ

2 1 「だれが(は)…」: わたしは

「いつ」: …きのう

「どうする」: …いきました

2 イたべました

ウ いいあいました

3 「おいしいね。」

アドバイス

1 の 2 の「ゆうえんちで」は、「あそぶ」をくわしくする働きをもちます。

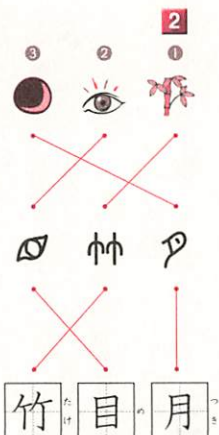
2 の 5 では、会話の部分は、直後に「と」などの引用を示す言葉があることに触れてもよいでしょう。

27 かん字のできかた

54〜55ページ



日 山 林 田 川



4 1 手 2 口 3 耳 4 目 5 足

アドバイス

漢字には、ものの形からできた象形文字と、位置関係など抽象的なものを示す指事文字などがあります。「火」「木」などは、象形文字、「上」「下」などは指事文字です。

28 かん字のかたち

56〜57ページ

1 1 火・天 2 石・右・名・足
2 1 町・男 2 林・森・村・校
3 1 大・犬 2 貝・見 3 木・本
4 字・学

4 1 本の 土に 百い とりが とまる。

2 一目じゅう、木いろの、ビー玉を、ころがして あそぶ。

アドバイス

字形のよく似た漢字の使い分けです。違っている部分に注目させるようにしてください。

29 なかまの かん字① 58〜59ページ

- 1 山 2 森 3 川 4 林 5 田
- 6 夕 7 石

- 2 1 男 2 女 3 先生 4 子

- 3 1 目 2 口 3 手 4 足 5 耳

- 4 1 上 2 下 3 入 4 出 5 大 6 小

アドバイス

それぞれ、同じ仲間に含まれる漢字を書かせる問題です。

4は、対となる漢字です。それぞれ、「上下」「出入」「大小」などの熟語を作ります。

30 なかまの かん字② 60〜61ページ

- 1 1 みっか 2 いっか 3 むいか
- 4 ようか 5 ここのか 6 とおか

- 2 1 日 2 月 3 火 4 水 5 木

- 6 金 7 土

- 3 1 三本

- 2 1 六にん

- 3 1 三本

- 4 1 四こ

- 2 1 二ひき

- 3 1 二はい

- 4 1 三まい

アドバイス

1は、1さんにち、2ごにち、3ろくにち、4はちにち、5くにち、6じゅうにちと読むこともできますが、日づけとしての読み方を徐々に覚えるようにさせましょう。

2は、一週間を表しています。1〜7の順で曜日が変わります。

4の4は、「はっぱん」ですが、「ハ」を「はち」と読んで、「はちほん」ともいいます。

4の4は、「はっぱん」ですが、「ハ」を「はち」と読んで、「はちほん」ともいいます。

4の4は、「はっぱん」ですが、「ハ」を「はち」と読んで、「はちほん」ともいいます。

4の4は、「はっぱん」ですが、「ハ」を「はち」と読んで、「はちほん」ともいいます。

4の4は、「はっぱん」ですが、「ハ」を「はち」と読んで、「はちほん」ともいいます。

31 まちがえやすい かん字 62〜63ページ

- 1 1 犬・大 2 学・字 3 木・本
- 4 日・目

- 2 1 九(〇)ノ九

- 2 1 九(〇)乙九

- 3 1 一(〇)一

- 3 1 女(〇)く女

- 3 1 女(〇)ノ女

- 3 1 生(〇)ノ生

- 3 1 白・百 2 人・入 3 木・水

- 4 1 王・玉 5 貝・見

- 4 1 二 2 一 3 二 4 三

アドバイス

4の1「右」は左払いから、2「左」は横線から書きます。間違えやすいので、しっかり覚えさせるようにしましょう。

32 たしかめ もんだい 64〜65ページ

- 1 1 ウ 2 日よう日

- 2 1 火 2 木 3 上

- 3 1

お白さまが **日** アヤマの **かげ**に おちるの **見** 見ると、とりは、本の **林** 土に **上** とまった。村の **イ** なかは とても **し** ずかで、ときどき 虫の **こ** えが **き** こえた。



- 2 ア山 イ中

- 4 1 三 2 三 3 一 4 三

アドバイス

3の1は、漢字の意味も確かめさせるようにしてください。

33 まとめの テスト① 66〜67ページ

- 1 2 はぶいて います

- 3 1 りんご・ぶどう(じゅんばんばは ち

がっても よい)

小学生のドリルシリーズ ②

ことばと文しょう 小学1年

2014年4月20日 第1刷発行

2016年4月25日 第15刷発行

編集・発行 株式会社 **大創出版**

Words and Sentences for 1st Graders

©2014 DAISO PUBLISHING CO., LTD.

Printed in JAPAN.

1st printing, April 2014.

15th printing, April 2016.

Quality and Design by
DAISO JAPAN

(株)大創産業
広島県豊島郡西条市行楽1-4-14
DAISO INDUSTRIES CO., LTD.
1-4-14 Saigo Yoshiyakitaguchi,
Higashi-Hiroshima, Hiroshima, 739-8501 JAPAN

本書の内容に関するお問い合わせ、乱丁・落丁のご連絡は、下記までお願いいたします。

ダイソー小学生のドリルシリーズ
お客様センター

TEL : 03-5981-7203

受付時間 月曜日～金曜日

(土・日曜日、祝日を除く)

10:00～12:00、13:00～17:00

大創出版ホームページ

<http://www.daiso-syuppan.com/>

本書の無断複写・複製・転載を禁じます。

乱丁・落丁本は下記へお送りください。

送料小社負担でお取り替えいたします。

Reproduction, copy or reprinting is prohibited.

We will replace damaged or defective items.

〒170-0002

東京都豊島区巣鴨 1-4-7 MKビル4F

株式会社 大創出版「お客様センター」係

- 34 まとめのテスト ② 68～69ページ
- 1 いもおとは、ぼうしをかぶりました。
 - 2 おみせへ行って、くだものをおかいました。
 - 3 ちやわんを、ていねいに あらいました。
 - 4 ぼくは、「こんにちわ。」と、いいました。
- 4 ひくい
- 1 きょう、ぼくは 学校を 休んだ。
 - 2 ゆきが、どっさり ふった。
 - 3 いつも、わたしは 早おきする。
 - 4 きいろい 2 ひらひら
- 5 アドバイス
- 5 の「どんな」は「ちよう」という名詞を修飾する言葉で、「どのように」は「ど」という動詞を修飾する言葉です。

- 35 まとめのテスト ③ 70～71ページ
- 1 一生
 - 2 「れい」むれを つくったり、一とうで いたり しながら、く ーらして いる。
 - 3 こざかな
 - 4 小さい ほう
- 5 ダイオウイカ
- アドバイス
- 1 の 2 は、「むれを つくったり、一とうで いたり しながら、くーらして います。」とあることに注目させましょう。
- 1 赤
 - 2 青
 - 3 白
- アドバイス
- 3 の 1、2、3、4 の — は、それぞれ同じ読みの言葉ですが、1 は「熱い」、2 は「厚い」という意味、3 は値段の高さ、4 は身長などの高さを表していますので、その反対の意味の言葉も、それぞれ違ったものになります。
- 4 きのう、ちかくの 山に くりひろいに きました。
- 「じかんくらい、むちうで ひろって いたら、かが いっぱいに なりました。」
- おかあさんが、
- 「ずいぶん たくさん ひろったわね。」
- と、いって、おどろいて いました。
- 